

第39回企画展

通い徳利の ひとりごと



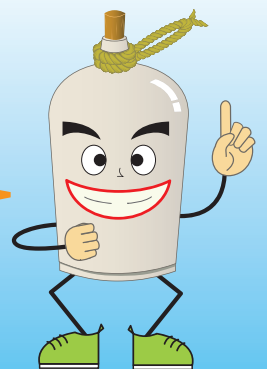
無料

令和4年

10.1(土) ▶ 12.11(日)

主催：亀山市歴史博物館
会場：亀山市歴史博物館企画展示室
開館時間：9時～17時（入場は16時30分まで）
休館日：火曜日

ぼくの
ひとりごと。



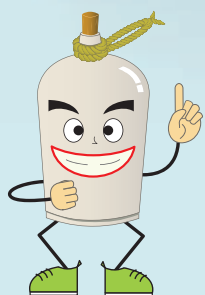
亀山市歴史博物館

☎519-0151 三重県亀山市若山町7-30
TEL 0595-83-3000
URL <http://kameyamarekihaku.jp/>



第39回企画展

通い徳利のひとりごと



亀山市歴史博物館には、市内で収集された通い徳利が約60本もあるよ。通い徳利は、酒屋が貸し出した量り売り用の徳利で、大きさも様々あるよ。徳利に書かれている店名や屋号をみると、酒蔵場・醤油醸造場・小売店のものに分けることができ、その数約30店近くもあったんだ。びっくりだね。このことから、亀山には、かつて多くの酒造場や醤油醸造場があって、市内で酒や醤油の販売が盛んだったことがうかがえるよね。そして、徳利には、銘柄が書かれているものもあって、蔵ごとに酒や醤油のブランドが確かにあったんだ。

だけど、亀山でかつて酒造りや醤油造りが行われていたことを知る人は、だんだんと少なくなっているんだ。醤油醸造場については、市内では平成元年まで醸造していた蔵があったから、まだ知っている人もいると思うけれど、酒造場に関しては、ほとんどの酒造場が昭和20年頃までに酒造りをやめ、実際に酒造場が稼働していた時の様子を知っている人は、ほとんどいないんじゃないかな。

この展示では、そんな市域の醸造場の歴史について、通い徳利を手がかりに残された資料から調べてわかったことを、ぼくが皆様にお伝えします。醤油醸造場の資料があまりのこされていないみたいだから、酒造場中心のお話になってしまうのが残念だけれど、亀山にも、かつて醸造場がたくさんあったことを知ってもらえたらうれしいな。



①



②



③



④



⑤

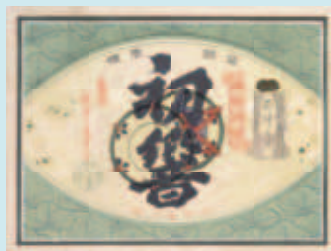
①近江屋商店店先写真(藤川家所蔵) ②田中醤油店関係写真(館蔵) ③「鈴鏡」酒樽と徳利(中林大典家所蔵)
④「文武」酒樽(館蔵) ⑤「鈴鹿正宗」酒樽(館蔵) ⑥「延年」ラベル(大原氏所蔵) ⑦「亀乃井」ラベル(岡本家所蔵)
⑧「初響」ラベル(岡本家所蔵) ⑨「東雲」ラベル



⑥



⑦



⑧



⑨

【関連事業】企画展講座「市域にあった醸造場の姿」

日時：11月23日(水・祝) 13:30～15:00
会場：亀山市歴史博物館 講義室
講師：澤田ゆう子(亀山市歴史博物館学芸員)
定員：25人(先着順)

申込方法：亀山市歴史博物館へ電話(0595-83-3000)、
または直接お申し込みください。 ※FAX・メール不可

申込期間：11月2日(水)～11月21日(月) 9時～17時 ※休館日を除く。

参加無料

